

増田式キーボード練習法を応用した

CUT Key らくらく速習法 (簡易版)

1. CUT Key 練習の基本

●効率のよい練習法

- ・普通のフルキーボードでブラインドタッチできるユーザーは、10%程度だと言われています。沢山のキーがランダムに広がっているからです。CUT Key は、少ないキーが規則的に並んでいるので、この速習法で少し練習すると、すぐ「半ブラインドタッチ」になれます。実務でその「半ブラインドタッチ」を続けると、しだいに「ブラインドタッチ」になります。
- ・普通のフルキーボードのブラインドタッチは、文字入力だけですが、CUT Key は練習次第で、数字や記号、機能やショートカットも手元を見ずに入力できるようになります。
- ・普通のフルキーボードと異なり、CUT Key では、きちんとした姿勢をとる必要がありません。リラックスしながら、右手で卵を軽く握る感じで指先をキーに当てて入力します。
- ・この速習法は、練習の仕方そのものが自然に覚えらるるので、電車の中など時間があるとき、頭の中で口ずさみながら膝の上で指を動かし、イメージトレーニングができます。

●子音と母音を別の指で交互に入力

- ・早くブラインドタッチになるには、各キーごとに使う指を決めておく必要があります。
- ・CUT Key では、5つの母音キーと7つの子音キーが上下に別れています。そこで、母音キーすべてに中指を当て、子音キー4つに人差し指、3つに薬指を当てると、子音と母音を交互に押す上下の動きが小さくなり、指の負担率も平均化されて押しやすくなります。
- ・下図に、各キーと指との対応を示します。「人指」は「人差し指」の略です。入力の仕方は、この速習法と対になっている「CUT Key クイックマニュアル」を参照してください。

文字の配列			数字の配列			ホームポジション			各指のエリア						
A段	あ	い	う	A段	7	8	9	A段				A段	中指	中指	中指
E段	え	お	や 行 わ行	E段	4	5	6	E段		中指		E段	中指	中指	薬指
K段	か行	さ行	た行	K段	1	2	3	K段	人指		薬指	K段	人指	人指	薬指
N段	な行	は行	ら 行 ま行	N段	0	,	.	N段				N段	人指	人指	薬指

- ・上記の指位置でなく、普通のテンキーボードと同じように、E段に人差し指・中指・薬指のホームポジションを置き、その縦列を各指のエリアにして練習することもできます。ただし、指の上下の動きが大きくなるので、どちらかという指の長い人に向いています。

●練習原理には、定評のある増田式を応用

- ・増田忠士氏は、十数年前からワープロやパソコンのキーボード入力に関する本を数多く書かれている第一人者です。この速習法も、その合理的でユニークな原理に基づいています。
- ・その原理とは、次の3つの方法によって練習すると、最大の効果が得られるということです。
 - ①常に2つずつのキーを組み合わせ、ペアの単位にして練習する。
 - ②中指のホームポジションを中心に、指がよく動く順に練習する。
 - ③数字順や50音順など、ふだん馴染んでいる順序で練習する。
- ・CUT Keyもこの原理に沿って練習すると、早くマスターできます。練習の仕方に慣れるため、比較的分かりやすい数字から始め、順次、かなや英字、記号、機能へと進みます。

2. 数字の練習（全角の数字モードで）

●数字の基本練習（各数字と「5」の組み合わせ）

- ・指の力を抜き、ポッチのある中央の「5」に中指、「1」に人差し指、「3」に薬指を置いてホームポジションとします。常に手元を見ないようにして練習してください。
- ・次の下図の右にある、各数字と「5」の組み合わせをそれぞれ繰り返し練習します。各指のエリアを守りながら、2番目の数字を中指のホームポジション「5」に戻します。人差し指のホームポジションが「1」にあるので、その下の「0」も楽に押せます。（「→」で1呼吸）

	数字の配列		
A段	7	8	9
E段	4	5	6
K段	1	2	3
N段	0	,	.

	各指のエリア		
A段	中指	中指	中指
E段	中指	中指	薬指
K段	人指	人指	薬指
N段	人指	人指	薬指

各数字と「5」

- ① K段 15 → 25 → 35
- ② E段 45 → 55 → 65
- ③ A段 75 → 85 → 95
- ④ N段 05

●数字の徹底練習（全数練習）

- ・2つずつの数字の組み合わせを「1」から順に、マトリックスにしました。各指のエリアを守りながら、この順序で何回も繰り返し練習してください。（「→」で1呼吸）

	K段	E段	A段	N段
① 2番目が「1」	11 → 21 → 31	41 → 51 → 61	71 → 81 → 91	01
② 2番目が「2」	12 → 22 → 32	42 → 52 → 62	72 → 82 → 92	02
③ 2番目が「3」	13 → 23 → 33	43 → 53 → 63	73 → 83 → 93	03
④ 2番目が「4」	14 → 24 → 34	44 → 54 → 64	74 → 84 → 94	04
⑤ 2番目が「5」	15 → 25 → 35	45 → 55 → 65	75 → 85 → 95	05
⑥ 2番目が「6」	16 → 26 → 36	46 → 56 → 66	76 → 86 → 96	06
⑦ 2番目が「7」	17 → 27 → 37	47 → 57 → 67	77 → 87 → 97	07
⑧ 2番目が「8」	18 → 28 → 38	48 → 58 → 68	78 → 88 → 98	08
⑨ 2番目が「9」	19 → 29 → 39	49 → 59 → 69	79 → 89 → 99	09
⑩ 2番目が「0」	10 → 20 → 30	40 → 50 → 60	70 → 80 → 90	00

●数字の実用練習

- ・平方根や30桁までの円周率は覚えやすく、また、掛け算の九九も規則的に並んでいるので、繰り返し練習するのに便利です。九九は、演算記号を無視して数字だけを練習します。

①平方根と円周率の練習

1.41421356 1.7320508 2.2360679
 （一夜一夜に見ごろ） （人並みにおこれや） （富士山麓オウム鳴く）

3.141592653589793238462643383279
 （産医師異国に向こう産後やく無く産婦みやしろに虫さんさん間に鳴く）

②九九の練習（九九を口ずさみながら、数字だけを押しして練習）

1*1=1 1*2=2 1*3=3 1*4=4 1*5=5 1*6=6 1*7=7 1*8=8 1*9=9
 2*1=2 2*2=4 2*3=6 2*4=8 2*5=10 2*6=12 2*7=14 2*8=16 2*9=18
 3*1=3 3*2=6 3*3=9 3*4=12 3*5=15 3*6=18 3*7=21 3*8=24 3*9=27
 4*1=4 4*2=8 4*3=12 4*4=16 4*5=20 4*6=24 4*7=28 4*8=32 4*9=36
 5*1=5 5*2=10 5*3=15 5*4=20 5*5=25 5*6=30 5*7=35 5*8=40 5*9=45
 6*1=6 6*2=12 6*3=18 6*4=24 6*5=30 6*6=36 6*7=42 6*8=48 6*9=54
 7*1=7 7*2=14 7*3=21 7*4=28 7*5=35 7*6=42 7*7=49 7*8=56 7*9=63
 8*1=8 8*2=16 8*3=24 8*4=32 8*5=40 8*6=48 8*7=56 8*8=64 8*9=72
 9*1=9 9*2=18 9*3=27 9*4=36 9*5=45 9*6=54 9*7=63 9*8=72 9*9=81

4. 英字の練習（英字モードで）

●英字の基本練習（各文字と「O」の組み合わせ）

- ・指の力を抜き、ポッチのある中央の「O」に中指、「K」に人差し指、「T」に薬指を置いてホームポジションとします。常に手元を見ないようにして練習してください。
- ・次の①～③で、各文字と「O」の組み合わせをそれぞれ繰り返し練習します。各指のエリアを守りながら、2文字目を中指のホームポジション「O」に戻します。（「→」で1呼吸）

1 回押しの子音

A 段	A	I	U
E 段	E	O	Y
K 段	K	S	T
N 段	N	H	R

2 回押しの子音

A 段	A	I	U
E 段	E	O	W
K 段	G	Z	D
N 段	C	B	M

3 回押しの子音

A 段	A	I	U
E 段	E	O	X
K 段	F	J	V
N 段	Q	P	L

①母音と1回押しの子音

A 段 AO → IO → UO
E 段 EO → OO → YO
K 段 KO → SO → TO
N 段 NO → HO → RO

②母音と2回押しの子音

A 段 AO → IO → UO
E 段 EO → OO → WO
K 段 GO → ZO → DO
N 段 CO → BO → MO

③母音と3回押しの子音

A 段 AO → IO → UO
E 段 EO → OO → XO
K 段 FO → JO → VO
N 段 QO → PO → LO

●日本語にない綴りの練習

- ・英語には、日本語にない子音や子音の連続などがあります。同じキーの子音を続ける場合の区切りに **[Ctrl]**、同じ子音の繰り返しに **[Shift]** を使い、右の人差し指で入力します。
- ・英語固有の子音や子音の連続、同じキーの子音が続く単語の例をよく練習しておきます。
 - ①固有の子音 clock five fox jail july left lucky quick quality relax vocal
 - ②連続の子音 eighty earthquake healthy industry screen stretch twelfth
 - ③同族の子音 address arrive film follow happy phone uncle village WWW

5. 記号と各種の機能の練習（かなモードで）

●記号の練習

- ・記号は、親指で **[⇐]** や **[⇓]** を押しながら、文字キーなどを1～2回押しして入力します。記号を2つずつ用途別に分類し、1組ずつ練習してその位置を覚えます。
 - ①句切り記号 、 。 , . : ; ! ? (カンマ・ピリオドは **[⇑]** を押しながら)
 - ②カッコ記号 () { } 「 」 < > ' "
 - ③演算記号 + - * / = ^
 - ④他の記号 @ & . ~ # % ￥ \$ _ |

●各種の機能の練習

- ・機能は、機能キーを単独で押すか、親指で **[⇑]** や **[⇓]** を押しながら機能キーや文字キーを押して入力します。機能を2つずつ用途別に分類し、1組ずつ練習します。
 - ①モード機能 [かな][カナ] [英/数][半/全] [Caps][Ins]
 - ②移動機能 [◀][▶] [△][▽] [Home][End] [PgUp][PgDn]
 - ③制御機能 [Space][変換] [Enter][Shift] [Ctrl][Alt] [Esc][Tab]
 - ④他の機能 [BS][Del] [漢字][PrtSc] [F1]～[F12] [前候補][Enter]¹⁰
- ・ショートカットは、左端の機能キーを左手で押しながら、他の機能キーや文字キーを右手で押しして入力します。使いたいショートカットを選んで、手元を見ずに練習しておきます。